

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年 3月 4日 (水)

2 確認箇所

- ・ 1号機タービン建屋東側
- ・ 1 / 2号機共用排気筒 (1 / 2号機開閉所前から確認)

3 確認項目

- (1) 1号機ミスト散水設備空気圧縮機の状況
- (2) 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況

4 確認結果の概要

- (1) 1号機ミスト散水設備空気圧縮機の状況について

平成30年8月8日や令和元年6月8日に不具合が発生して停止したことがある1号機ミスト散水設備^{*}の空気圧縮機の現況を確認した。

(前回確認：[令和元年7月10日](#))

- ・ 現地確認時には、空気圧縮機A、B、Cの3系統(2基/系統)のうち、A系統2基が運転中であった。(図1、写真1)
- ・ 東京電力によると、平成30年8月8日や令和元年6月8日の空気圧縮機の停止は塩害による制御系部品の腐食が原因で、同部品を交換して復旧しており、当該制御部品の予備品を備えることにしているとのことであった。

※1号機ミスト散水設備は、1号機原子炉建屋オペレーティングフロア(オペフロ)で行われているガレキ撤去作業において、オペフロダスト濃度警報設定値($5.0 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$)を超えた場合、ダスト飛散を抑制するために、圧縮空気によりオペフロ上に緊急散水する設備である。

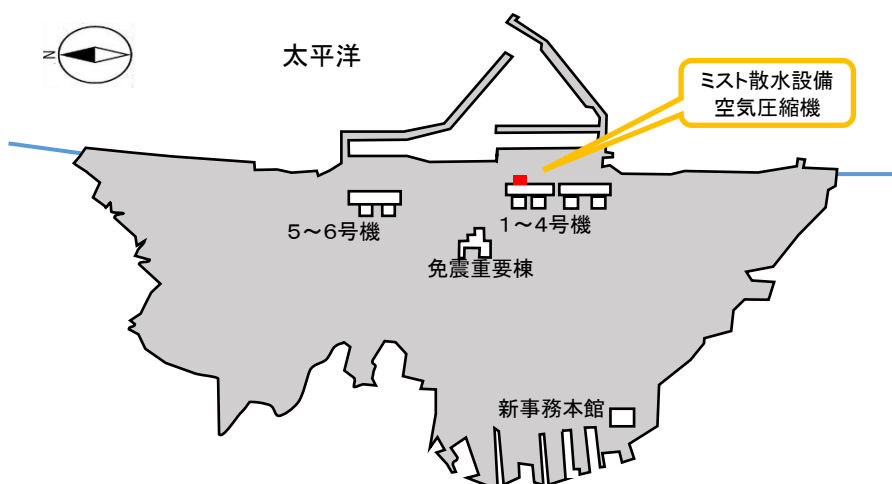
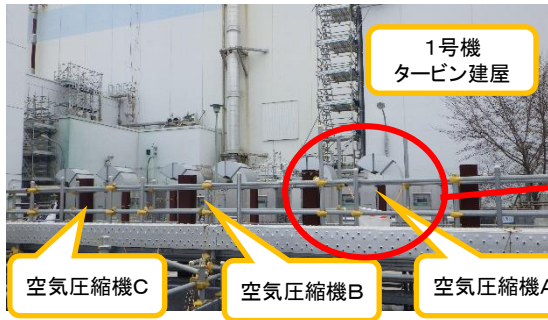


図1 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
空気圧縮機の設置状況①
(東側から撮影)



(写真1-2)
空気圧縮機の設置状況②

(2) 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況について

3月2日に引き続き、12ブロック目の鉄塔解体作業の状況を確認した。

- ・12ブロック目は、現在、歩廊の切断作業を実施している段階であるが、現地確認時は、筒身解体装置が地上に吊り下ろしされて、装置の点検作業が行われていた。(写真2)
- ・東京電力によると、給油のために装置を吊り下ろしたものであり、干渉する作業(1号機原子炉建屋ヤード整備工事)終了後に、切断作業を再開するとのことであった。



(写真2-1)
13ブロック(筒身)解体後の排気筒の状況
(1 / 2号機開閉所前から撮影)



(写真2-2)
筒身解体装置の点検の状況
(1 / 2号機開閉所前南側)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。